

せんなん教育ニュース



令和4年（2022）年2月泉南市教育委員会

泉南市立小中学校再編計画〈複数案〉

泉南市教育委員会は、令和2（2020）年12月に泉南市立小中学校再編計画〈複数原案〉を作成し、リーフレット（概要版）の全戸配布、市ウェブサイト・SNSでの配信、アンケートの実施、小中学校での住民説明会などを通じて、学校再編計画〈複数原案〉4案について広く周知し、市民との意見交換に努めてきました。

この学校再編計画〈複数案〉は、その意見を取り入れて再度議論し、令和3（2021）年10月に再編案を次の3案（A案・A2案・新B案）にまとめ直したものです。今後、この学校再編計画〈複数案〉をもとに、泉南市教育問題審議会において審議を行う予定です。

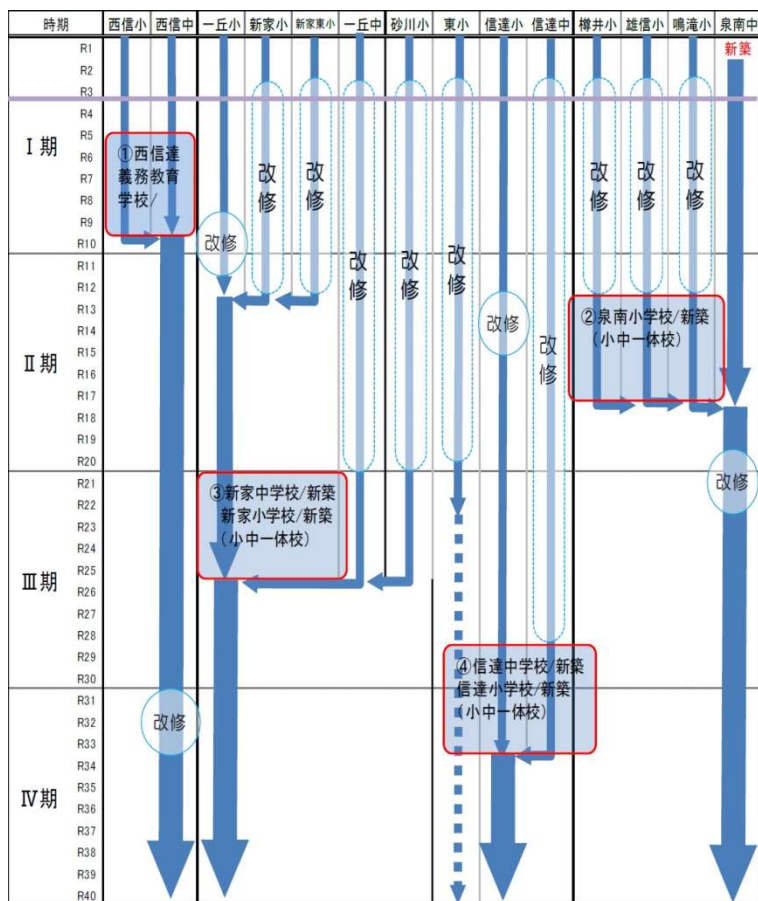


2019年に新築した泉南市立泉南中学校（校舎とメディアセンター）

A 案（4中学校5小学校案）

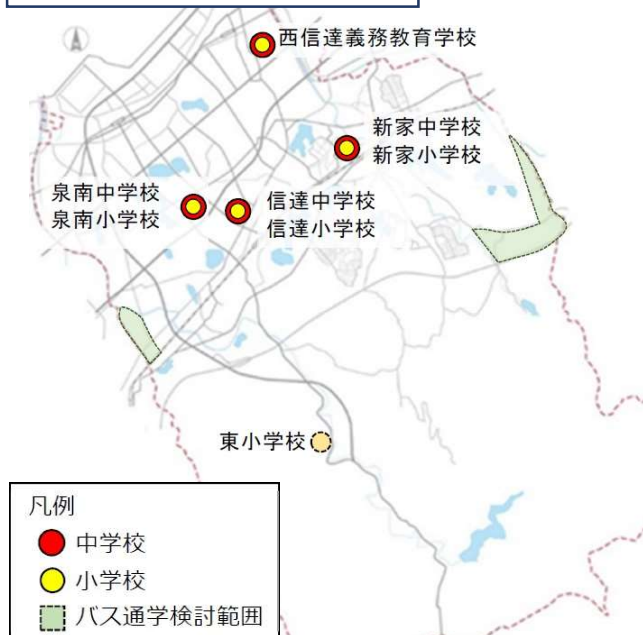
A 案は、現在の4中学校区を残し、義務教育学校（9学年制）を1校、小中一体校を3つ（3中3小）新築することを基本とする案です。

A 案 再編スケジュール



- 現在の学区をできるだけ存続しつつ、4 駅に近く、跡地利用による新たな発展も視野に入れていきます。
- 西信達エリアは、小中学校の老朽化が著しいため、西信達中学校敷地等に義務教育学校（9 学年制）を新築します。
- 新家エリアは、3 つの小学校（新家小、新家東小、一丘小）を統合し、第三期に小中一体校（1 中 1 小）を新築し、砂川小を新家小に統合するとともに、一丘中を移転します。
- 信達エリアは、信達小学校の敷地等に信達中学校を移転し、小中一体校（1 中 1 小）を新築します。
- 泉南中学校区の小学校（樽井小、鳴滝小、雄信小）は、泉南中学校の敷地等に新たな小学校を新築します。
- 東小学校は、学校規模や校区の環境を特性とした特認校制度を導入していますが、各期において在り方を検討します。

A 案 完了時の学校位置図



- 凡例
- 中学校
 - 小学校
 - バス通学検討範囲

泉南市が目指す教育

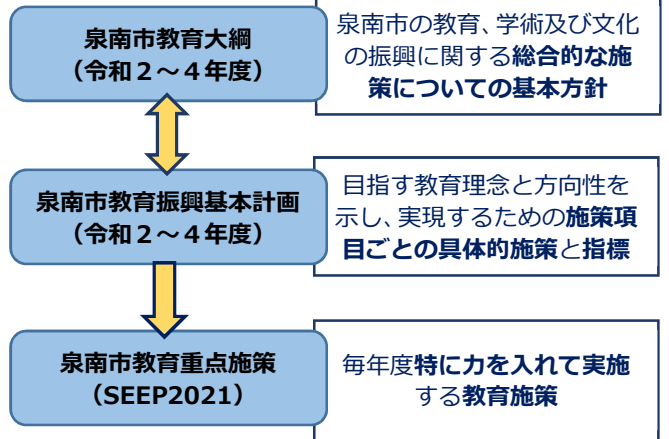
泉南市の「大いなる希望」である子どもたちには、現実と向き合い、様々な困難を乗り越えながら、社会を構成する一員としてたくましい大人へと成長して欲しいと願い、「希望と力をもちたくましく生き抜く子ども」を育成することを目指しています。

令和3年度泉南市教育重点施策（SEPP2021）

毎年、特に力を入れて取り組む教育施策をまとめ、目指すゴールイメージを共有するものです。

令和3年度は、次の4つを重点施策としています。

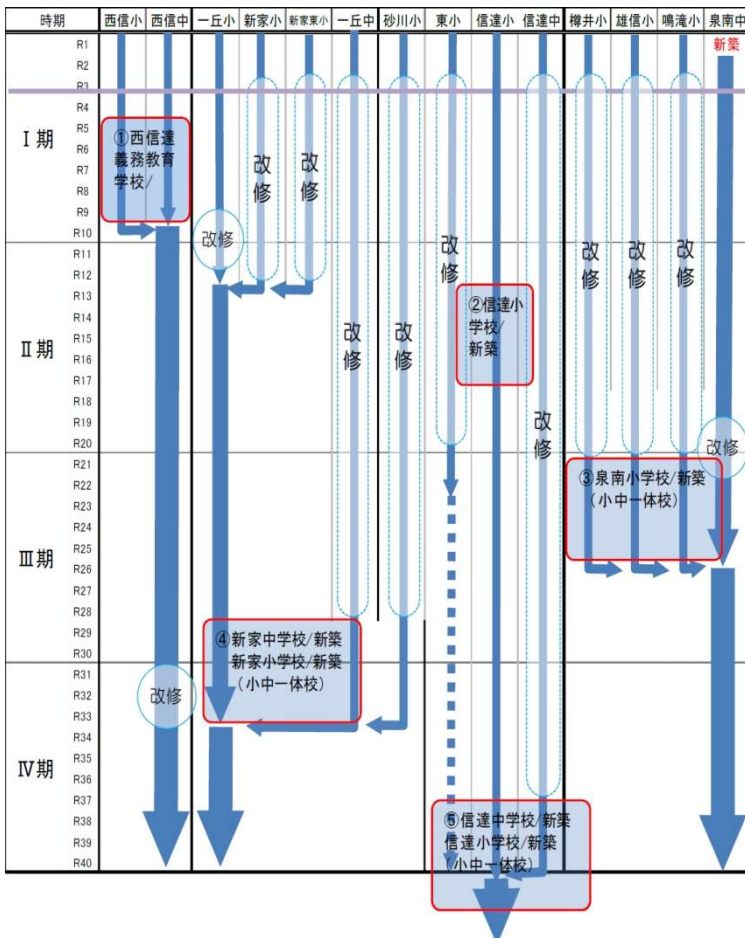
- ①国際化教育 JETプログラムによる国際交流、国際化教育を推進
- ②ICT教育 GIGAスクール構想の推進によるICT環境の整備
- ③小中一貫教育 市独自の小中一貫教育を構築、小中一貫教育が行いやすい学校再編計画策定
- ④教職員研修 授業力向上による学力の向上、支援力向上によるいじめ、不登校の減少



A2案（4中学校5小学校案その2）

A2案は、現在の4中学校区を残し、義務教育学校（9学年制）を1校、小中一体校を3つ（3中3小）新築することを基本とする案です。

A2案 再編スケジュール



- 現在の学校区をできるだけ存続しつつ、4 駅に近く、跡地利用による新たな発展も視野に入れていきます。
- 西信達エリアは、小中学校の老朽化が著しいため、西信達中学校敷地等に義務教育学校（9 学年制）を新築します。
- 新家エリアは、3 つの小学校（新家小、新家東小、一丘小）を統合し、第Ⅲ期後半から小中一体校（1 中 1 小）を新築し、砂川小を新家小に統合するとともに、一丘中を移転します。
- 信達エリアは、第Ⅱ期に老朽化が進んでいる信達小学校校舎部分（体育館を除く）の新築を行います。第Ⅳ期の後半から信達中学校を信達小学校敷地に新築・移転し、小中一体校（1 中 1 小）とします。
- 泉南中学校区の小学校（樽井小、鳴滝小、雄信小）は、泉南中学校の敷地等に新たな小学校を建設します。
- 東小学校は、学校規模や校区の環境を特性とした特認校制度を導入していますが、各期において在り方を検討します。

A2案 完了時の学校位置図



泉南市が目指す小中一貫教育

泉南市では、子どもたちがこれからの社会の中でしっかりと自分を主張して、様々な人と“つながる”ため、「つきたい力（どのような力をつきたいのか）」を明確なものとし、学校、保護者、地域で子どもたちの育ちと学びの連続性を保障する小中一貫教育を選択しました。

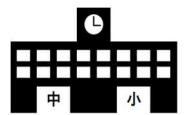
そのため、小中一貫教育は、泉南市の教育方針の柱の一つであり、再編計画の考え方の基軸です。小中一貫教育を行う学校の施設の形態としては、一体型、分離型、併設型が考えられます。また、法令上、小学校・中学校によるものと、義務教育学校の2種類があります。



(1) 一体型

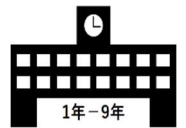
①小中一体校

小学校と中学校の校舎を同一施設とすることにより、系統的な教育の実践を目指す小中一貫校



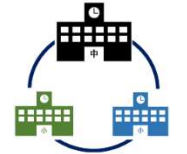
②義務教育学校

小学校課程から中学校課程までの9年間を一貫して行う小中一貫校



(2) 分離型

小学校と中学校の校舎と敷地が離れていても、同じ中学校区のグループ内で教員や児童生徒が連携して学習・活動する小中一貫校



(3) 併設型

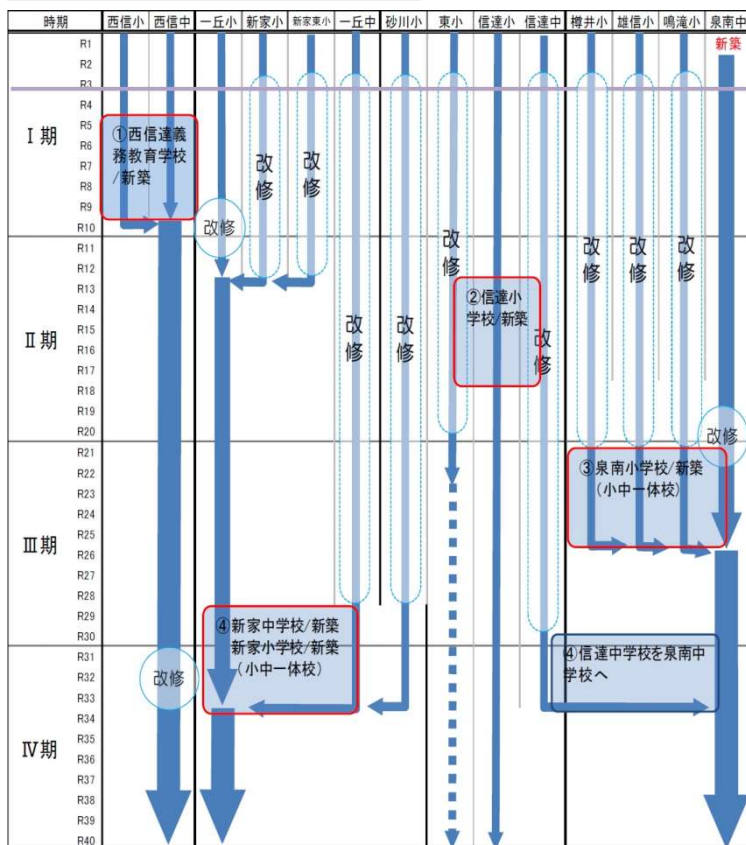
小学校と中学校の校舎を同一敷地内に併設し、児童生徒の交流を容易にすることによって、より密接な連携学習や活動を推進する小中一貫校



新B案（3中学校5小学校案）

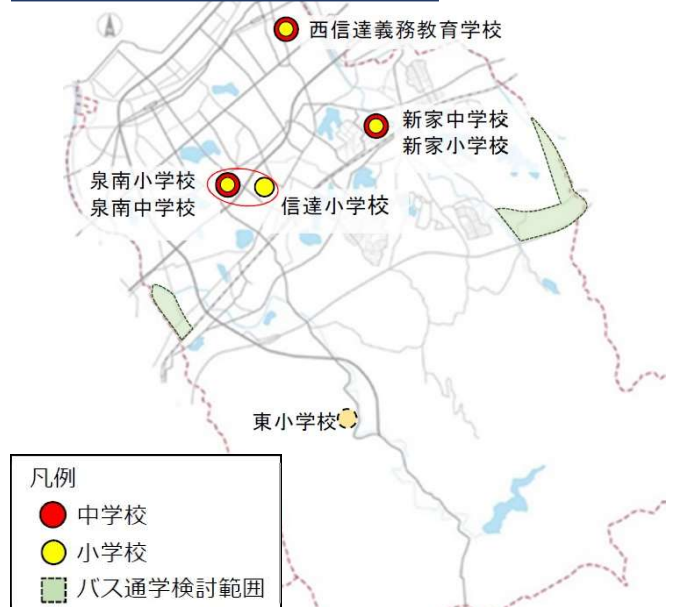
新B案は、泉南中エリアと信達中エリアを統合し、最終的に義務教育学校（9学年制）を1校、小中一体校を1つ（1中1小）、「1対多」の施設分離型の小中一貫校（1中2小）を新築することを基本とする案です。

新B案 再編スケジュール



- 10年以内には新たに入学する子どもの人数が400人程度となるため、4中学校から3中学校に縮小するものです。
- 西信達エリアは、小中学校の老朽化が著しいため、西信達中学校敷地等に義務教育学校（9学年制）を新築します。
- 新家エリアは、3つの小学校（新家小、新家東小、一丘小）を統合し、第Ⅲ期後半から小中一体校（1中1小）を新築し、砂川小を新家小に統合するとともに、一丘中を移転します。
- 泉南・信達エリアは、第Ⅱ期に老朽化が進んでいる信達小学校校舎部分（体育館を除く）を新築し、第Ⅲ期に泉南中学校敷地等に樽井小、鳴滝小、雄信小を統合・新築します。また、第Ⅳ期に信達中を泉南中に統合し、小中一貫校（1中2小）とします。その際、分離型又は併設型等の形態は柔軟に検討します。
- 東小学校は、学校規模や校区の環境を特性とした特設校制度を導入していますが、各期において在り方を検討します。

新B案 完了時の学校位置図

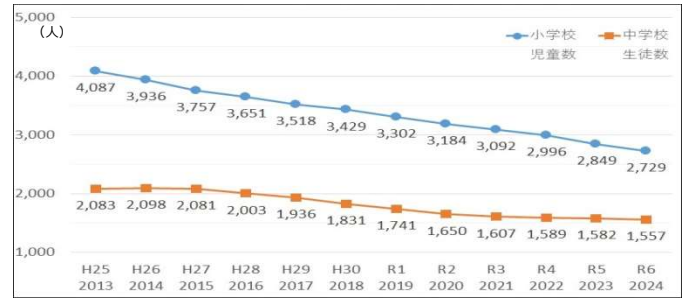


泉南市立小中学校の概要

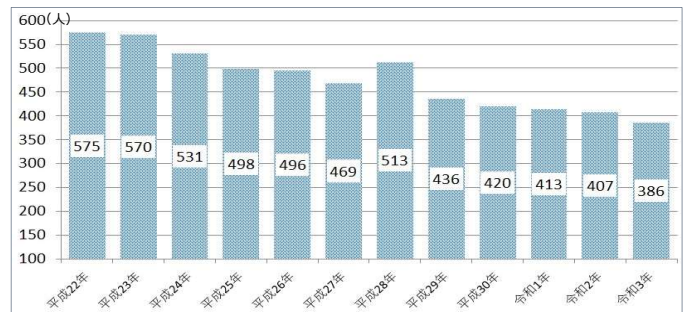
施設：令和3年3月1日現在/学級・児童生徒数：同年5月1日時点

学校名称	建築年	経過年数	面積(m ²)	耐震補強完了年度(校舎)	学級数(通常級数)	児童生徒数	
西信達中学校	昭和32	1957	64	4,129	平成23	6	182
西信達小学校	昭和40	1965	56	4,393	平成21	12	297
信達小学校	昭和40	1965	56	5,893	平成20	17	614
東小学校	昭和41	1966	55	2,009	平成26	6	94
雄信小学校	昭和42	1967	54	3,715	平成22	7	192
新家小学校	昭和42	1967	54	4,363	平成24	8	212
樽井小学校	昭和44	1969	52	6,955	平成25	17	483
鳴滝小学校	昭和48	1973	48	5,927	平成19	8	239
一丘小学校	昭和48	1973	48	6,536	平成26	8	247
砂川小学校	昭和50	1975	46	5,674	平成24	18	551
一丘中学校	昭和50	1975	46	8,152	平成21	10	348
信達中学校	昭和52	1977	44	7,604	平成22	16	619
新家東小学校	昭和56	1981	40	4,661	平成26	6	163
泉南中学校	平成31	2019	2	8,722	-	12	458
※建築年数、経過年数は、各学校における最も古い校舎						小107	小3,092
※面積は、校舎と体育館の延床面積の合算の数値						中44	中1,607

泉南市の児童生徒数の推移と予測



泉南市の出生数の推移 (各年3月31日現在)



学校再編時の児童生徒数の推計

新たな学校を開始した時期における児童生徒数及び通常学級数の推計

再編案	時期	概要(仮名称)	小学校		中学校	
			児童数	学級数	生徒数	学級数
A案	令和10年	西信達義務教育学校	243	11	125	4
	令和14年	新家小学校	418	13	222	6
	令和18年	泉南小中学校	551	18	290	9
	令和26年	新家小中学校	526	18	190	7
令和34年	信達小中学校	221	8	132	5	
A2案	令和10年	西信達義務教育学校	243	11	125	4
	令和14年	新家小学校	418	13	222	6
	令和18年	信達小学校	376	12	-	-
	令和26年	泉南小中学校	422	12	221	6
	令和34年	新家小中学校	403	12	215	6
新B案	令和10年	西信達義務教育学校	243	11	125	4
	令和14年	新家小学校	418	13	222	6
	令和18年	信達小学校	376	12	-	-
	令和26年	泉南小中学校	422	12	221	6
令和34年	新家小中学校	403	12	215	6	
令和34年	泉南小中学校(信達中統合)	325	12	292	9	

学校再編に必要な費用の試算

学校再編を行う場合に必要となる建築費用の試算 (単位：百万円)

再編案	計画総額	学校名称	完成年度	建築額	老朽度調査	改築関係					
						改築関係	設計	改築	除却	外構等	仮校舎
A案	19,711	西信達義務教育学校	R9	3,866	21	3,845	91	3,031	294	229	200
		泉南小中学校	R17	3,433	32	3,401	77	2,558	573	193	0
		うち新築合計	R25	6,053	32	6,021	130	4,348	1,014	329	200
		信達小中学校	R33	3,893	21	3,872	87	2,900	466	219	200
		その他改修費用	随時	2,466							
A2案	19,258	西信達義務教育学校	R9	3,866	21	3,845	91	3,031	294	229	200
		信達小学校(校舎)	R17	2,138	7	2,131	48	1,602	160	121	200
		うち新築合計	R25	2,867	32	2,835	61	2,046	573	155	0
		泉南小中学校	R33	5,182	32	5,150	107	3,560	1,014	269	200
		信達小中学校(中校舎・体育館、小体育館)	R41	2,855	14	2,841	69	2,294	305	173	
		その他改修費用	随時	2,350							
新B案	17,026	西信達義務教育学校	R9	3,866	21	3,845	91	3,031	294	229	200
		信達小学校(校舎)	R17	2,138	7	2,131	48	1,602	160	121	200
		うち新築合計	R25	3,130	32	3,098	61	2,047	835	155	0
		新家小中学校	R33	5,182	32	5,150	107	3,560	1,014	269	200
		信達小学校(体育館)	R41	360	4	356	8	284	43	21	
		その他改修費用	随時	2,350							

JETプログラムによる国際化教育

泉南市は、世界中の青年が国際交流のために日本に滞在する国のプロジェクト「JET(ジェット)プログラム」を進めています。

2022年1月現在で、ALT(外国語指導助手)18人、CIR(国際交流員)3人、SEA(スポーツ国際交流員)1人の合計22人が、市立小中学校と教育委員会事務局で勤務しています。今後さらにALT2人とCIR1人がやってくる予定です。

ALTは各小中学校での英語学習や様々な学習のサポートをします。CIRは幼稚園や子ども園などで国際交流活動を行います。SEAはサッカーのコーチや体育の学習のサポートをします。



発行・編集：泉南市教育委員会事務局 教育部
TEL：072-483-2581(教育総務課直通)
e-mail：k-soumu@city.sennan.lg.jp

〒590-0592 泉南市樽井一丁目1番1号
FAX：072-483-7306
市ウェブサイト：http://www.city.sennan.lg.jp

泉南市教育委員会ポータルサイトは、泉南市HPのバナーかこちらのQRで。⇒

